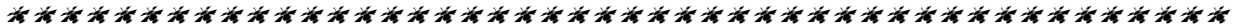




とつか

2015年12月会報 第254号

- 2015 国際会長(IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)
- 主 題 “Mission with Faith” 「信念のあるミッション」
- スローガン “Count Your Blessing” 「恵みを数えよう」
- アジア地域会長(AP) Edward K. W. Ong (シンガポール)
- 主 題 “Through Love, Serve” 「愛をもって奉仕をしよう」
- スローガン “Let it Begin with Me” 「まず自分から始めよう」
- 2016 東日本区理事 渡辺 隆(甲府) 「原点に立って、未来へステップ」
- 湘南・沖縄部部长 今城 高之(横浜つづき)「一人ひとりが愛と平和の種をまこう！」
- クラブ会長 吉原 訓 「ゆっくり・楽しく 社会に奉仕」
- 副会長 浦出 昭吉 書記 若木 一美 会計 小俣 妙子
- メネット事業 吉原 和子 担当主事 長田 光玄



会長ひと言

吉原 訓

～一年の過ぎゆくはやさ凝視して～

「一日の過ぎゆくはやさ凝視して妻と二人あり十一月二十日」

昭和22年生まれで東北大卒業(理学修士)の歌人の歌が、11月20日の読売新聞で紹介されていました。私と同年代です。この歌を“四季”の欄の長谷川權さんは、“ふつうのことをふつうに詠む。短歌でも俳句でも、これほど難しいことはない。題材にもたれず表現に凝らず、それでいて深い静かさをたたえていること。この歌もその一首。時の激流の真ただ中の静かさ”と評している。

私事ですが、結婚して間もなく小さな会社を起こし三十九歳で横浜市会を志し六十四歳で引退宣言。今は九十二歳の母の介護と、お寺や神社の世話役、薬局の経営とかなりの繁忙な日々です。ワイズ会長職も一年半が過ぎようとしています。会員増強ままならず、新たな事業や魅力的な事業も見いだせず年の暮れを迎えています。Y祭のバザーでメンバーの友人や、ご子息の奥さんのお手伝いは大変ありがたいものでした。ほほえましい姿でした。この助っ人をもっと増やしたらどうだろうか。商店会の方々の出店は大変に貴重なものです。加えて自治会・町内会の関係の方、特に地域の子供会の方々の売店は望めないものだろうか。ふと思いました。「一年の過ぎゆくはやさ凝視してメンバー全員とあり十一月二十日」

◎今月の聖句◎

神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。

—ヨハネの手紙—4章9節—

今月は、申すまでもなく主イエス様のご降誕の月です。聖句では、イエス様が私たちの世界に現れになったことを、神のお言葉を介して表現しています。この日から、イエスが全生涯をもって示された博愛・奉仕・自己犠牲の心を私たちにとお与えくださいました。私たちはワイズメンの奉仕活動の基本と心得、自らの指針として世界の人々の友好と平和のために尽くす覚悟を改めて持ちたいものです。

強調月間 EMC/MC

EMCのうち、Eは10月が強調月でした。そして今月がMとC、Membership & Conservation、つまり“会員増強”と“維持啓発”を指しています。いずれもワイズ運動の根本をなす言葉ですね。古くて新しいテーマ、…と言ってしまえばそれまでですが、この実践の成否が申すまでもなくクラブの消長に深く関わってきます。いわゆる“グッドスタンディング・クラブ”にするためには、15名というボーダーラインが存在します。私たちのクラブは自慢ではありませんが“…未満”となつてから大分経ちました。10年ほど前に、毎月の様に入会式を挙げていたことに思いを致し、今からでも決して遅くはありません！…。

11月在籍者数	11月出席者数	出席率	ファンド他	B (円)	F (g)	CS・TOF・A S F (円)	Y E S (円)	ロバ (円)
メ ン 12	メ ン 11	91%	前月迄		0	0	0	8,950
メネット 1	メネット 4		当 月		0	0	0	0
	ゲストら 5		累 計		0	0	0	8,950
計 13	合 計 20							

## ☆第1例会(湘南とつかYMCA祭‘のみの市’に振り替え)報告☆

吉原 訓

日 時：2015年11月3日(火・祝) 8:30~13:30

場 所：湘南とつかYMCA 1階ホール

参加者：(ゲスト) 齋藤さん・松野さん(小俣ワイズのお友だち)  
室井さん親子(吉原さんのお友だち)  
佐藤コメットさん

(メン) 浦出・大高・長田・加藤・川津・小俣・佐藤・土方・  
吉原・若木・渡辺

(メネット) 浦出・吉原・杉本・加藤 以上20名

11月3日文化の日、湘南とつかYMCAでは恒例の“い〜とつか祭(Y祭)”が開催されました。晴の特異日、天候に恵まれた上、毎年近隣の小学校での戸塚区民祭り(大規模な総合文化イベント)との相乗効果で、YMCA側のそれぞれのイベント会場に人が溢れ、私たちワイズが担当するチャリティバザーの会場となっている1階ホールの入口にはすでに開場前から長蛇の列ができておりました。

蚤の市はヨーロッパの大都会の各地で春から夏にかけて、教会や市庁舎前の広場などで開かれる古物市で、出店者は一般家庭や仲間が集まるグループから古物商や雑貨商の様な事業者まで幅広く参加するイベント、とか…。

一方バザーとは学校や教会の資金調達や事業拡充のため、自分たちにとっては不用品であっても金銭的に価値のある物を持ち寄って競売に掛け 販売益を寄付するというもの… と聞いています。

蚤の市、バザー、バザールと似たような表現がありますが、私たちがお手伝いしているのはバザーだと思えます。✔

お客様の中には「これ負けてくれない!」と言われる方が何人もおられました、…となると100円、いや10円の攻防です、バザーです、なるべく高く買って…とも言えず、当方はやや当惑顔で…。一生懸命に売り子を務めてくださった会員の皆様、ありがとうございます。



今回は献品が少ない様に感じましたが お陰さまで、売上げ174,626円の浄財を得ることができ、前年の落ち込みを挽回することができました。

会員の皆様、お手伝いいただいたご家族、ご友人の方々、本当にありがとうございました。



## ☆‘のみの市’余聞☆

加藤 利榮

目の前に積み重ねられた段ボール箱と紙袋に入った包み、YMCAに寄せられた善意のお宝のヤマ-図書-、昨年に続き‘図書コーナー’を若木・浦出両ワイズと担当、前日の‘値付け’から始まった‘お宝’との闘いは、ほとんどの時間を陳列と整理に…。

お値段は、特に高価(そうな)モノを除き‘3冊100円’、心の中では『我が国における出版界の現状とその将来』に思いを馳せ、この膨大な量に押されまいとひと時売り子に徹しました。

中には、司馬遼太郎の‘竜馬がゆく’(文春文庫・全8巻)とか中里介山の‘大菩薩峠’(角川文庫・全20巻)や人情時代小説山本一力の著作集(新潮文庫・8冊)なども散見されます。

9時30分開場と同時にツナミのごとく入って来られたお客様、まずは‘物品’コーナーへ、やがて流れはこちらにも、お客様からはかなりセンモン的な質問も出て 当方も慌てず・たじろがず

背中に冷や汗を感じながらの応接…、気が付けば早や正午近く さしもの波も緩やかに、お陰で 吉原会計主任へ何度か千円札のやり取りが…。ホホウ、竜馬も一力も いつの間にか売れたわい…。一方 分厚なウェブスター英語辞典(1818年刊)、ブックスタンドの役を果たし 終わりまで残っておりました。



## ☆第2例会報告☆

小俣 妙子

日 時：11月17日(火) 18:30~20:30

場 所：湘南とつかYMCA 204号室

出席者：長田・加藤(2)・小俣・佐藤・土方・吉原・渡辺

### 【報告】

- ① 第1例会(湘南とつか祭‘のみの市’)：11/3(火・祝) 前日の‘値付け’を含め、2日間にわたって実施した。(別掲参照)
- ② YMCAから：ワイズの皆さんの全面的なご協力のお陰で、‘祭’の総収入が100万円を超えることができた。(長田)

### 【協議・確認】

- ① 区メネット会：参加者3名(杉本・小俣・加藤)
- ② クラブ初島研修旅行：12月15(火)~16(水) 参加者：11名予定・吉原カーとJRのふた手に。プログラム・ヤド・食事：若木案にお任せする。
- ③ 会計から：現況と見通しに付き、小俣会計から報告と説明がなされた。
- ④ その他：—
  - Y-Y's協議会：12/1(火)・若木、加藤、長田が出席予定
  - 区民クリスマスと全Yクリスマスの開始時間の確認。
  - 当面の日程を確認した。
- ⑤ ブリティン原稿の依頼

-以上-

## ☆次期部長・次期事業主任研修会から☆ 若木 一美

10月31日(土)、東京YMCA 東陽町センターにおいて標題の研修会が開催され 参加してきました。

定刻10時30分、いつものセレモニーで開会、自己紹介の後、

【研修1】 WIZの現状：渡辺理事、YMCAの協力関係：田尻連絡主事、次期理事方針：利根川次期理事による計60分の講義、12時から昼食（昼食後 汐浜運河を散策、‘前に越中島の貨物駅にSLを観に来たなあ…。’）、そして12時50分から、

【研修2】 部の活性化を目指して：利根川次期理事と宮内文献・組織検討委員長の講義40分、写真撮影に全員で収まった後、

【研修3】 次期部長グループと次期事業主任グループに分かれ、各自意見を述べ合う協議で90分にわたり、休憩20分を挟み、

【研修4】 質疑応答70分、区事務所からの諸事務連絡の後、閉会セレモニーが行われ、定刻の17時に終了しました。

長時間にわたり たいへんお疲れ様でした…。

そして17時15分から18時45分まで 立食式の懇親会があって、本日のプログラムのすべてを終了しました。

この種の研修会、講師が受講者に、そして年度が変われば、受講者が講師に1年で替わる不思議な研修、そして言ってしまう。「20年前からの資料を見ました。表紙を替えれば今も使えます、評価をしているのはワイズ好き(Yキチ)の人、外部の人が見たら また違う内容になるのでは…？」と…。そのうち また 我がクラブのご長老に連絡があるかもよ…。「湘南・沖縄部から また一人 ムツカシイ人が出てきたね！」

## ☆Y混を聴きに行きました☆ 加藤 利榮

横浜YMCA 混声合唱団一略して‘Y混’の54回目となる定期演奏会が いつ止むともなく降り続く11月18日(水) 雨の宵、横浜みなとみらい小ホールを満席にして開かれました。

19時から始まった演奏会、中ほどに15分の休憩を挟み、前後それぞれ2つのステージから成る4部構成です。第1ステージは、極め付け バロック期の作曲家ガストルディの20分ほどのミサ曲、簡素な中にも味わい深い作品でした。次いで第2ステージでは、宮沢賢治の詩による‘雨ニモマケズ’から4曲、30分にわたるこの曲は以前にも Y混で演奏されていたので、いっそう味わい深く聞き入り、とくに 標題にもなっている4曲目の「…ワタシハナリタイ」で終わるところでは なぜか 胸に迫るものがあり 感動しました。

後半、第3ステージで演奏された‘ふるさと’‘砂山’など日本の歌曲による5つの合唱曲が20分、年配者には 遠い昔のありし日を懐かしく思い起こさせてくれたようです。

第4ステージとなった 金子みすゞの詩に寄せた「混声合唱とピアノのための『こだまでしょうか』」、20分ほどで5曲、それぞれの冒頭には 詩が朗読されて いっそう演奏を引き立たせ、また聴く者にこの詩人特有の優しさ・ぬくもりといった感情を与えていたようで、まさにこの日のファイナル・ステージに相応しい曲であり、演奏だと感じました。

終わりに 主催者から、「次回は来年10月22日の予定、お会いできるのを楽しみにしております。」と案内がありました。

## ☆区メネット会に参加して☆ 加藤 明子

“おいしく・楽しく・そして話し合い”のテーマのもと、今年度メネットの集いが晴れ渡った晩秋の11月28日(土) 熱海市内で開かれ、杉本メネット 小俣メンと3人で参加しました。駅を出ると すでにお顔馴染みのメネットさんたちがわいわいがやがや、ご挨拶もそこそこにお迎えのバスで会場の「ハートピア熱海」へ。…お膳に並べられた豪華なお料理を頂きながら 今後のメネットの在り方について話し合いがなされ、竹内敏朗元国際会長からは、熱海国際大会の折にメネットが大変良い働きをしてくれたのを考えると 当面は 存続も…とのご意見が、一方で 手を挙げてメネット会長になることも必要との意見もありました。帰途に立ち寄ったMOA美術館では 高低差60メートルに及ぶエスカレーターからの眺めも堪能し お車代まで頂いて帰途に着きました。



## ☆故石井一也さんを偲ぶ会に☆ 加藤 利榮

9月19日 82歳で亡くなられた石井一也さんの思い出が11月21日(土)の正午から、東京・新宿の中華レストランであり 参加しました。

石井さんは日本区第35代理事、私の前の前の理事でしたので 言わばワイズの先輩格に当たります。会には 西日本区らのワイズを含め 東京西クラブや元東京セントラルクラブのメンバーを中心に全部で25名ほどが集まりました。



会は 東京西クラブの神谷WIZにより進められ、出席者紹介の後 食事となり、頃合いあって指名順にそれぞれが思い出を述べ合いました。私からは2つ、1つ目は 今から40年前の1975年7月に開催されたアタミ国際大会の折に、彼からの依頼で デンマークのWIZ夫妻を10日間ほど事前にホームステイをし そのまま大会会場にエスコートした話、以来この事が縁となって現在まで多くの海外の仲間をホームステイしてきたこと、2つ目は 日本区が東西に分かれる前の最後の大会 1997年6月の名古屋大会の折、会議中に私の隣にいた彼が突然倒れたことがあり、その頃から病の兆候があったのではないかと話しをしました。また 小原ワイズ(世田谷)からは、90年4月の中国訪問や95-96年のアジア会長とコロポ・アジア地域大会の彼との思い出などが熱く語られ、終わりに 全員で記念写真に収まり 散会しました。

☆YMCA だより☆

～地域と共に YMCA・い～とつか祭～

11月3日(火・祝)に今年も「YMCA・い～とつか祭」を開催しました。同日はまた近隣の横浜市立東戸塚小学校で「戸塚区民祭り」が開かれており、「区民祭り」に参加された方がそのまま「YMCA・い～とつか祭」にも来場され、例年同様、多くの方にご来館いただきました(今年は幟を作りました!)。横浜とつかワイズメンズクラブの担当は‘のみの市’(バザー)です。昨年より35,000円多い売り上げとなりました。ワイズメン、メネット、ご友人の皆さんは休憩の時間もなく12時過ぎまで売りに徹していただきました。感謝です。今年も募金総額が100万円を越えました。多くの企業、団体、皆さまにご協力いただきました。ありがとうございます。お預かりした募金は、国際・地域協力募金として海外で困難な状況にある方々や日本国内で緊急な支援が必要な方々、更には東日本大震災の復興支援などに役立てられます。



☆今月の歳時記から☆

‘藪柑子 やぶこうじ’ と ‘枯木 かれき’

‘藪柑子’、山地の日陰に生える高さ20センチぐらいの常緑小低木で、古名を‘やまたちばな’といいます。

夏に白色の花が咲き、秋から冬にかけて真っ赤に熟した丸い実を付け、庭や鉢に植えて観賞用にもします。小形で可愛らしく、万葉の昔から歌にも詠まれているとか…。

やぶこうじさんごの如し雪の谷	よしみ
藪柑子父はみるみる後ろなり	林之助
冬青き苔の小庭や藪柑子	小波
藪柑子山めく庭のすみずみに	かな女

次に‘枯木’、冬になって葉がまったく落ちた木を指し、あたかも枯れ果ててしまったかのように見えますが、枯死したわけではありません。枯木の群落を枯木立といい、桜、銀杏、桑、茨などが葉を落とした姿には独特の風情があり、また枯木(こぼく)、裸木、枯枝、枯木宿などともいいます。

枯木中仏に礼し僧帰る	虚子
父母の亡き裏口開いて枯木山	龍太
枯木にて枝のびのびと岐ちをり	五千石
女来て泣く児連れ去る枯木かな	きそく

(午)

☆12・‘16/1月の行事予定 ☆

- >12/1(火) 第71回 YMCA-Y's 協議会: 19:00～
- >12/12(土) 戸塚区民X'mas: 湘南とつかYMCAホール
- >12/15-16 とつかクラブ初島研修旅行: 下欄参照
- >12/17(木) 全Y X'mas: 湘南とつかYMCAホール
- >12/23(水)・30(水)～1/3(日): YMCA全館休館
- >1/16(土) 合同新年会: 18:00～
- >1/19(火) クラブ第2例会: かしお・18:00～
- >1/30・31 沖縄公式訪問

～12月の会合のご案内～

第1例会: 15(火)～16(水)の  
初島研修旅行に振り替えます。  
第2例会: 休会

～Happy Birthday～

(該当者なし)

【掲示板】

会長

- ◎ 『なぜ15名が必要なの?』…調べてみました。  
先ごろ区から会長あてに、「…国際に関する投票権は国際会費を完納している会員数15名以上のクラブに各1票与えられます。ただし、5名から14名のクラブでも、国際会費を完納し実際に活動していれば、区理事を通じてガイドライン409項適用免除申請を行うことで選挙権が得られる…」旨の連絡があり、その書類にサインして返送しておきました。そこで、ガイドライン409項をちょっと見てみました。  
すると、5名から14名のクラブでも409項の規定が適用になることが、そのすぐ下の411項に明記されていることが分かり、我ながらその不勉強ぶりを改めて知った次第です。なお、ロースターには上記のほかP. 10・26・33・43に「15名」という数字が出ていることを知りました。ご参考まで…。

◎ クラブ初島研修旅行の件

次のように、ふた手に分かれてまいります。

△クルマ組: 会長・加藤(2)・佐藤・杉本・土方  
(計6名) 一駅東口ロータリー12時集合

△JR組: 伊藤(機メネット)・若木・浦出・小侯・吉原(和)  
(計5名)

戸塚発 11:36→大船発 11:42(熱海行)

◎ 例会の振替えについて

△12月の第1例会は、上記理由により  
15・16日の初島研修旅行に振り替えます。

△12月の第2例会は、休会とします。

(後記)

いつものように年の瀬近くなりました。来る年に更なる希望を託して…。



(TK)